

家庭科学習指導略案

5年1組 30名 指導者 小原久美子

本授業では、以下の検証を行うものである。
 「調べる・確かめる」過程での「かかわり合う」ペア活動及び教師の手立ては、本時の目標を達成するのに効果的であったか。(研究内容2)

1 題材 はじめてみよう ソーイング

2 指導計画 (総時数9時間)

過程	主な学習活動	評価の観点				評価規準	時間
		関	創	技	知		
見 つ か む	1 針と糸を使って縫ってあるものを見たり、縫った経験について話し合ったりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">小物入れを作るためには、どのようなことを身に付けたらよいのだろうか。</div>	○			○	○ 製作に関心をもち小物入れを製作しようとしている。 ○ 裁縫道具の名前や安全な使い方について理解している。	1
調 べ る ・ 確 か め る	2 針と糸を使って、玉結び、玉どめをする。《練習布》			○		○ 安全に気を付けて玉結び、玉どめができる。	2
	3 なみ縫い、返し縫い、かがり縫いをする。《練習布》				○	○ 手縫いによる簡単な縫い方について理解している。	1
	4 ボタン付けをする。《練習布》				○	○ ボタン付けの順序が分かり、付けることができる。	1
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭で</div> 自分の家で、小物入れに使えるような布とボタン、糸を見つけておく。	/	/	/	/		
	5 小物入れの製作計画を立てる。《家から持ってきた布》				○	○ 製作計画について考えたり、工夫したりしている。	1
	6 小物入れを製作する。《家から持ってきた布》					○ いろいろな縫い方やボタン付けなどを生かして、小物を製作することができる。	2 (本時)
生 活 に 生 か す	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">家庭で</div> 製作した物を家庭で使用する。	/	/	/	/		
	7 作品発表会をする。				○	○ 製作した物を生活で活用している。	1

3 本 時 (7/9)

(1) 目 標

練習布で学習してきたことを生かして、自分の計画した小物入れのボタン付けをすることができるようにする。

(2) 評価規準

安全に気を付けて、自分で計画を立てて裁った布に、ボタン付けができる。 【生活の技能】

(3) 指導に当たって

「つかむ・見通す」過程では、視覚的にも理解しやすいようにボタン付けの手順を提示したり、ボタン付けの必要性について考えさせたりすることで、問題意識を高めさせるようにする。

「調べる・確かめる」過程では、ボタン付けのコツを見付けさせるために、実際に小物にボタンを付ける活動を取り入れる。また、「ペアで→みんなで」の活動を取り入れ、友達とかかわらせる中で、見守りやアドバイスができるようにし、より理解が深まるようにする。付け終わった後、「ボタン付けチェック表」を見ながら確認させることで、ボタン付けのコツを見付けさせ、実践意欲が高まるようにする。

「生活に生かす」過程では、自分の伸びを実感させるために、本時の学習内容、かかわり合い方、意欲を振り返る学習シートで自己評価を行う。また、家庭生活や次の家庭科の授業への意欲を高めさせるために、これから家庭でやってみたいことを記入させるようにする。

過程	時間	形態	主な学習活動と教師の手立て・評価	教材等			
つかむ・見通す	5	みんなで	<p>1 司会団が、前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印を付けて、布を裁つことができた。 ・ボタンがまだ付いていない。 <p>2 司会団と、めあてを立てる。</p> <p>小物入れのボタンは、どのように付けたらよいのだろうか。</p> <p>3 教師が、学習のポイントを提示する。</p> <p>4 司会団が、本時の学習の流れを確認する。</p>	<p>学習計画表</p> <p>小物入れ</p> <p>ボタンの付け方確認表</p>			
			<p>5 ボタンを付けを行う。</p> <p>(1) ペア学習で、ポケットにボタンを縫い付ける。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>前半 (ボタン付け)</th> <th>後半 (ボタン付け)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>1人目 (10分)</p> <p>○ボタン付け開始</p> <p>↓</p> <p>○ボタン付け終了</p> </td> <td> <p>ペア評価</p> <p>・見届け</p> <p>・アドバイス</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>ペア評価</p> <p>・見届け</p> <p>・アドバイス</p> </td> <td> <p>2人目 (10分)</p> <p>○ボタン付け開始</p> <p>↓</p> <p>○ボタン付け終了</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ペアで、「ボタン付けチェック表」に記入しながら、付け方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～3mmの隙間が、ちゃんとあけてあるね。 ・ボタンを付ける場所が、ふたとぴったり合っているよ。 ・丈夫にボタンが付いているね。 <p>(3) ボタン付けのコツを、みんなで話し合う。</p> <p>6 教師の補説を聞く。</p> <p>7 司会団と、本時のまとめをする。</p> <p>小物入れのボタンは、正しい場所に、2～3mmのすきまをあけて丈夫に付けるとよい。</p>	前半 (ボタン付け)	後半 (ボタン付け)	<p>1人目 (10分)</p> <p>○ボタン付け開始</p> <p>↓</p> <p>○ボタン付け終了</p>	<p>ペア評価</p> <p>・見届け</p> <p>・アドバイス</p>
前半 (ボタン付け)	後半 (ボタン付け)						
<p>1人目 (10分)</p> <p>○ボタン付け開始</p> <p>↓</p> <p>○ボタン付け終了</p>	<p>ペア評価</p> <p>・見届け</p> <p>・アドバイス</p>						
<p>ペア評価</p> <p>・見届け</p> <p>・アドバイス</p>	<p>2人目 (10分)</p> <p>○ボタン付け開始</p> <p>↓</p> <p>○ボタン付け終了</p>						
調べる・確かめる	5	ペアで	<p>※ 安全に気を付けて、自分で計画を立てて裁ったフェルトに、ボタン付けをすることができる。</p> <p>(作品、学習シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動が進んでいる子どもには、「チェック表」を見ながらボタンの付け方の確認をするように助言する。 ○ 活動が停滞している子どもには、実物や手順の載った絵を提示しながら助言する。 				
			<p>10</p>	みんなで	<p>8 司会団が、本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 振り返りを学習シートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が教えてくれたから、ボタンの付け方がよく分かった。 ・これから、ボタンが取れそうなときは、自分で付けよう。 <p>(2) 学習計画に基づき、次時の学習の予告をする。</p>	<p>学習シート</p>	
生活に生かす	5	みんなで	<p>自分の伸びを実感させるために、本時の学習内容、かかわり合いと意欲を振り返る「やる気・かかわり合い・分かった/できた」の自己評価を行わせる。</p>				